

平成30年 9月 市長定例記者会見

2018年 8月14日(火)

午後 1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、定刻となりましたので、ただいまから平成30年 9月市長定例記者会見を始めます。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては、事業発表についてからお願いしたいと存じます。事業発表に係る質疑応答が終了いたしましたら、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進行いたします。

なお、ご質問の際は、お手数でございますがご自席のマイクのスイッチを入れていただき、ご質問の後はお切りいただきますようご協力をお願いいたします。

終了は14時30分を予定いたしております。ご協力のほどお願い申し上げます。

それでは、市長、よろしくをお願いいたします。

【市長】 9月の定例記者会見ですけれども、国体の開催の関係で例年より早く議会が開会されますので、この時期になりました。お盆の中日ということで、皆さん非常に日程がつきにくい中で、申し訳ないですけれども、よろしくをお願いいたします。敦賀気比高校ですけれども、甲子園に出場しましたが、初戦突破ならずということですが、夢の舞台で球児たちの姿がしっかりと頑張っていたいて、みんなに感動を与えたものというふうに思っております。すばらしい野球を見せてくれて感謝いたします。

それから、これからですけれども、8月16日木曜日、気比の松原で第69回とうろう流しと大花火大会がございます。ちょっと雲行きを心配しておりますが、無事に、にぎやかに夏の風物詩が開催されますことを期待しております。

それから、9月1日から4日までが敦賀まつりということになりますので、国体開催を盛り上げるために応援パレードとか国体音頭などを実施する予定ですので、ぜひお楽しみいただきたいと思っています。

それから、国体につきましては9月15日から水泳競技を皮切りに開催されます。炬火名も、本日発表させていただきますが、そういうところで盛り上がっていきたいと思っています。

それから、ちょっとさかのぼりますが、8月6日には東芝エネルギーシステムズ様と水素サプライチェーンの構築に向けて基本協定を結ばせていただきました。このことが地域を支える新たな水素インフラ設備の実用化に向けて、新技術、また地域産業の育成などに繋がっていくことを期待しているところでございます。

きょうは、発表項目3つですが、よろしく申し上げます。

【秘書広報課長補佐】 では続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 発表項目3つでございますが、1つ目は平成30年度9月補正予算概要でございます。

今回の補正予算につきましては、国、県補助金の内示決定に伴うものなど、6月補正以降に予算措置が必要となったものを計上いたしました。

まず、市庁舎整備につきましては、立体駐車場の工事費を計上するとともに、新庁舎の実施設計委託に係る債務負担行為を設定いたしました。

そのほか補正予算の主な事業として、民生費では、子供が病気の際の保育需要に対応する病児・病後児保育施設や第2栗野南児童クラブの建設費及び開設準備経費を計上いたしました。農林水産業費では、敦賀西部地区土地改良事業に係る県への負担金を、商工費では、神楽門前町活性化ビジョンに基づき関係団体が実施する地域活性化の取り組みに対する補助金や、門前町のにぎわい創出のためイベント広場、駐車スペース機能を持つ多目的広場の整備費を計上いたしました。土木費では、駅前立体駐車場の整備に係る関連工事費を、教育費では、国道8号の拡幅に伴うプラザ萬象敷地内の工作物等の移設経費を計上いたしました。

企業会計では、水道事業会計及び下水道事業会計において、都市計画道路岡山松陵線の整備に伴う若葉町地係の配水管、汚水管の布設替等工事費を計上いたしました。

以上が今回の補正予算の概要でございます。

続きまして、2つ目ですけれども、「福井しあわせ元気」国体・障スポ、敦賀市炬火名の決定についてでございます。

いよいよ開催されます「福井しあわせ元気」国体・障スポの敦賀市炬火名が決定いたしました。敦賀市の炬火名は「輝いて みなとつるがの 希望の火」です。これは敦賀市立松陵中学校1年生の方の作品です。炬火名の選考に当たりましては、市民の皆様から応募のありました555の作品から、「福井しあわせ元気」国体・障スポの開催イメージにふさわしく、敦賀らしさを表したものを最優秀賞といたしました。また、決定した炬火名の作品のほかに、3名の方の作品も優秀賞とし、この4名の入賞者の授賞式を8月26日日曜日に市民文化センターで開催する「福井しあわせ元気」国体・障スポ敦賀市開催直前市民決起集会で実施いたします。詳しい内容につきましては、配付資料をご覧ください。

それから3番目ですが、交通安全市民大会の開催についてであります。

交通安全意識の高揚と交通マナーの向上に努め、交通事故防止を図るため、秋の交通安全県民運動期間に合わせまして、9月21日金曜日午後1時30分から、市民文化センターにおいて秋の交通安全市民大会を開催いたします。敦賀市交通対策協議会加入の各団体などから約700名が参加し、交通安全功労者等の表彰をはじめ、交通安全標語コンクール及びポスターコンクール優秀作品の表彰、また会員による大会宣言を行うなどし、国体・障スポの開催に向け、市民の交通マナーアップを推進していきます。

詳細は、別紙資料をご覧ください。

発表項目は以上でございます。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目についてご質問をお受けしたいと存じます。

最初に、幹事社さんからお願いします。

【記者】 門前町の多目的広場、これのにぎわい創出の整備費とあるんですけれども、どういったスケジュールで進んでいるものですか。

【市長】 担当の方から答えます。

【産業経済部長】 それでは、門前町多目的広場整備事業費の部分のこれからのスケジュールでございますけれども、今回の予算で土地等の買い戻しの予算を組んでございます。それとプラス、その土地のこれから多目的、駐車場、こういった形にするかという実施設計の費用もこちらの予算のほうで盛り込んでございます。そういった部分を今年度行いま

して、来年度、工事という形で進めていきたいというものでございます。

【記者】 追加でお願いします。完成はいつを予定されているのでしょうか。

【産業経済部長】 今年度の実施設計を踏まえまして、来年度中という形で行っております。ただ、やはり少しでも早く何とか整備ができればと思っているところです。

【記者】 地域の方からは特に反対とかというのはないのでしょうか。

【産業経済部長】 こちらのほうは、既に神楽1丁目商店街さんを中心とした生き生き神楽門前町会議というところで、既にそういったビジョンをいただいているものに沿って今回整備をするというところでございます。

【記者】 ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社お伺いいたします。発表項目につきましてご質問がございましたら挙手をよろしくお伺いいたします。

【記者】 先ほどの多目的広場ですけれども、具体的にはどういうものになるのかというのをもうちょっと具体的に教えてもらえればと思うんですけれども。単なる駐車場なのか、もうちょっと活用できるスペースなのか。そのあたりはどうでしょうか。

【産業経済部長】 それでは、こちらのほうですが、これから補正予算を認めていただいた中で、イベントを行うために給排水とか電源の設備、そういった設置とか、あと舗装の部分も含めて、インターロッキングにするかカラー舗装にするとか、あとはイベント告知等を行うための看板をどう設置するかとか、そういった部分。あと、ほかにも門前町にふさわしい景観のデザインというところを考慮しながら実施設計を行ってきたいというものでございます。

【記者】 門前町にふさわしい設計とか、その辺の図はもうできているんですか。まだ今からやるということですか。

【産業経済部長】 門前町につきましては、景観形成の協議会がもう既にございまして、そちらのほうで、このようなデザイン方針というものがもう既にございますので、それに沿っていろいろ考えていきたいと思っているところです。

【司会】 それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へと行きたいと思います。これも幹事社さんから、よろしくお伺いいたします。

【記者】 ふげんのことでお伺いしたいんですけれども、たしか9月中に搬出先をどこか特定するというふうな機構が約束をしていたと思うんですが、何か今の段階で具体的に方針を説明されたりという事実はありますか。

【市長】 今おっしゃるように、30年度上期ということなので9月中ということになりますけれども、具体的な搬出計画を報告するという約束ですけれども、今のところ、ふげんの使用済燃料に関しては具体的な報告を受けてはいないです。

文部科学省と原子力機構が責任を持って検討を進めていると考えています。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社お伺いいたします。ご質問がございましたら挙手をお願いいたします。

【記者】 挨拶の中でも水素の協定、お話がありまして、多分これから、今計画を練っていらっしゃるところだと思うんですけれども、今後、周辺の市町と協力してやっていくという構想なものですから、そのあたり、高島市なり米原市なり美浜町なり、周辺の市町にどういうふうに説明をしていって、どういうふうに進めていく。敦賀市単独ではなかなか、

そもそも単独でやるという構想ではないので、周辺の市町の方にどういうふうに理解してもらって進めていくのかというのがありましたら教えてください。

【市長】 ハーモニアスポリス構想の中では、6市町連携してということになるんですけども、この水素サプライチェーンの構築という基本協定につきましては、基本協定を結んだばかりですし、とりあえずできることからして行って、そして研究開発を進めていきながら、それが技術的なものとか産業につながっていけば周りの市町と連携してという形になろうと思いますので、今の時点では、やっと始まったという、種で芽が出る寸前という感じかと思いますので、今のところは何とも言えません。

【記者】 ハーモニアスポリス構想そのものの話になるかもしれませんが、ずっと地方創生とかの取り組みがありますが、どちらかというと、政府の側、批判的な側から見ると、都市間競争というのが大分進んでしまって、いいのかどうかはわかりませんが、そういう意味でいうと、地域で協力してやっていくという意味でいうと、ちょっと違う方向というか新しい方向なのかなというようなことを思っているんですが、そういう意味でいうと、形にしていくという部分と、構想そのものを説明していくという部分と、できてからというのは当然あると思いますが、形ができて、同じように歩調を合わせてやっていくという部分でいうと、スケジュール感みたいなものは何かあるんですか。そのあたりの説明というか理解を得ていく方策というか。

【市長】 構想自体は練ってくれている、構想策定中なんですけれども、6市町が同じことをしましようというわけではなくて、それぞれに連携して、いろいろお互いにプラスになることをやっていければなというふうに思っていますので。この水素サプライチェーンが大きくなってくれば、例えば周りの市町に工場ができて敦賀市の人が働きに行くとか、その逆もあると思いますし、また、その結果として港を活性化していただければということがありますので、お互いにウイン・ウインの関係を構築しながらということを考えています。

【企画政策部長】 現在、ハーモニアスポリス構想と、それに関連する計画については、現在策定中。今年度いっぱいかけて構想を策定している段階であります。

ただ、構想の策定段階におきましても、周辺の市町の方、担当の方にも参画していただきまして、内容とかについて随時お知らせしながら進めているというのが現状であります。

【記者】 ハーモニアスの関係なんですけれども、敦賀市は水素を提案しているんですけども、ほかからというのはどういう話が提案とか、これができないとか、そういう話というのは具体的に何かあるんですか。

【市長】 部長の方から答えます。

【企画政策部長】 ハーモニアスといいますのは、地域間の連携というのが基本になります。それぞれの持ち味を生かしながら地域間の発展を図ろうということですので、今現在はそれぞれの町、市からの提案とかありましたら受け付けているという段階ですので、計画を策定する中で、そういう協力関係のある程度、それぞれの分野で構築できたらなと今のところ考えているところであります。

【市長】 ちょっと補足しますと、構想の中でお互いに出し合っている状態だと思うんですけども、今やっていますのは、例えば南越前町と長浜市と一緒に鉄道遺産を盛り上げていこうとか、北前船につきましても南越前町と敦賀市で認定していただいて一緒に協力

していこうとか、そういうような一つ一つ、それぞれに合ったものをつくっていかないといけないというふうに思っています。

ですから、例えば高島市と敦賀市と結ぶことで広い平野と港というつながりができますので、そういう中でプラスになる。産業の発展とかそういうことにつながっていただけたいなど。それぞれに出し合っているところだと思います。

【記者】　じゃ、今やっている構想というのは、出し合ったものを、またそれを盛り込んで、もうちょっと具体的な形にもっとなっていくということではないんですね。

【市長】　構想は、もう少し長期的なものも考えていくと思いますけれども、済みません。こっちでやっていますので、お願いします。

【企画政策部長】　お答えいたします。

具体的なものまで盛り込むことができるかどうかは、まだこれからという形になりますが、市長が申し上げましたとおり、それぞれの持っている部分を組み合わせながら、1対1もしくは1対多数みたいな形の組み合わせで地域間の発展ができたかなというような方向で考えているところであります。

【秘書広報課長補佐】　それでは、ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして9月市長定例記者会見を終わります。

ありがとうございました。

午後1時49分　終了